

第52回若鷺旗争奪東北中学校野球大会 確認事項

第52回若鷺旗争奪東北中学校野球大会に関して、以下の内容に沿って、大会を運営いたします。出場校および役員の皆様は事前にご確認をいただき、円滑な大会運営に御協力をお願いいたします。なお、ここに記載以外の各会場に関する事項および運営時間に関する連絡事項は、出場校への文書連絡および監督会議時に御連絡いたします。

第52回若鷺旗東北中学校野球大会実行委員会

1 ユニフォームの着用について

- (1) 背番号は一桁までは原則としてポジションを示す番号であり、全員が続き番号であること。
- (2) 見苦しくないように着用する。
 - ① 上着の裾は出さず、たるませずベルトが見えるように着用する。
 - ② パンツの裾はストッキングのふくらはぎの部分が見えるまで上げる。
 - ③ 肩の部分をたくし上げない。
- (3) ユニフォームの上着に個人名は入れない。また、ノースリーブの上着は認めない。
- (4) 選手はサングラスを使用しない。ただし、選手の健康上の理由及び球場の条件によって大会本部で協議し認める場合もある。その際、投手もサングラスの使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
- (5) ストッキングについて次の通りとする。
 - ① 危険防止のため、アンダーソックスとストッキングの両方を着用する。
 - ② ハイカットのストッキングは禁止する。

2 ユニフォーム以外の用具等について

- (1) ヘルメットはSGマークのついたものを、チームとして色やデザインは同一のものを着用する。また、安全性が確保できないと判断されたもの（例：保護パット不装着、ひび割れ等）は使用できない。
- (2) 捕手の装具は連盟公認のマークのついた物を使用する。マスクはSGマークのついたものとする。なお、スロートガード一体型の場合は、スロートガードを付ける必要はない。
- (3) 野球用の手袋で打者・走者、および投手以外の守備に使用できる。リストバンドを兼ねたようなものは禁止し、手首から先のものとする。色は白・黒とする。
- (4) レッグガード・エルボーガードは原則使用禁止とする。事情により使用を希望する場合は、攻守決定時に大会本部に申し出て許可を得る。
- (5) 滑り止めスプレーの使用を禁止する。
- (6) リストバンドは使用できない。また、サポーター（手首や指を固定、保護する目的のもの）の使用は医療目的に限り、試合前に大会本部に申し出て許可を得る。

3 その他の事項

- (1) スタンド及び球場外で、指定された場所以外でのテントの設営を禁止する。
- (2) ウォームアップについて
 - ア 球場内でのウォームアップの時、芝生のところはアップシューズのみとする。
 - イ 球場内でのウォームアップの人数は以下のようにする。
 - ・登録メンバー（選手，監督，コーチ）と補助員3名のみ
 - ・ユニフォーム着用者以外のグラウンド内への立ち入り禁止
 - ウ 球場内アップ内容
 - ・ハーフ打撃，フリー打撃は禁止し，トスバッティングまでとする。
 - エ 球場内練習時の服装はユニフォームを原則とする。第1試合チームは打順表の交換まではチームで統一されたTシャツも可とする。（※アンダーシャツのみは禁止）
 - オ グラウンドに出る際は，必ず着帽する。
- (3) マスコットバット，バットリング，鉄棒，公認球以外のボール等，試合で使用しないものは球場内への持ち込みは禁止する。
- (4) 補助員の服装は，選手と同じユニフォームとする。準備（用意）できない場合は練習用ユニフォームまたはチームTシャツでもよい。
- (5) 監督，コーチの服装は選手と同じユニフォームとする。教員が平服でベンチに入る場合は，緊急時対応（怪我等）以外グラウンドに出ることができない。
- (6) 相手チームのシートノック中は，危険防止のためベンチから出ない。ただし，ブルペンでの先発投手による投球練習は除く。
- (7) シートノック時のマウンドの使用を禁止する。（投手が守備練習を行う際もマウンドは使用しない）
- (8) 試合中の控え選手のグラウンド内でのウォームアップは，バッテリーを含む4名以内とし，キャッチボールのみ認める。（ランニングやダッシュ，ストレッチ，素振り，ゴロやフライ捕球等禁止）ただし，攻守交代時に限り，ファウルグラウンドで外野の方向へランニングすることを認める。